厚生労働省委託事業：感染症危機管理リーダーシップ人材育成モデル事業

令和6年度 感染症危機管理リーダーシップ研修（短期）閉会式が３月１４日に執り行われました

（寄稿）危機管理・運営局 企画調整部 上級研究員　佐藤 瞳

自治体職員を対象とした「感染症危機管理リーダシップ研修（短期）」が、無事に終了しました。本研修は、新型コロナウイルスのパンデミックを受けて、地域における将来の感染症危機への対応においてリーダーシップを発揮する人材を育成することを目的に新たに発足し、１月から3ヵ月間にわたり実施されました。対面研修・実地研修・WEB研修・机上演習を組み合わせ、感染症危機時のリーダーシップの基礎に関して知見を深める体系的プログラムとして構成されました。

閉会式は3月14日に執り行われ、厚生労働省健康・生活衛生局 感染症対策部感染症対策課 荒木裕人課長、国立健康危機管理研究機構 國土典宏理事長 、国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所　感染症危機管理研究センター長 齋藤智也先生より、研修生の今後の活躍に期待する力強いメッセージが送られました。特に、國土理事長からは、本研修の略称としてIDCL（Infectious Disease Crisis Leadership）が正式に定められたことが発表され、今後のさらなる発展が期待されます。

厚生労働省 健康・生活衛生局
感染症対策部感染症対策課
課長 荒木 裕人先生

国立健康危機管理研究機構
理事長　國土 典宏先生

国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所
感染症危機管理研究センター長
齋藤 智也先生